

楽しく美しい まちづくり通信…⑧

市内の清水でまず有名なのが、明治天皇が東北御巡幸の折りにお飲みになられた「御膳水」で、市内に三カ所あります。
特に、「足曳の山下水…」の和歌を添えて差し上げたといわれる末の松山の「山下水」は今でも時折折野立て用として使われています。

◎山下水

昔からカツラの木の下には水が湧くとか、カツラの木は水を呼ぶとか言い伝えられて来ました。市内に大きなカツラの木が多く点在することからも、二戸市は「湧き水の街」と言えるかもしれません。
また、カツラと湧き水には多くの伝説と由来があり、長い年月の間、人々の暮らしを支え続けています。



桜清水

山下水に向かう途中に「桜清水」があります。
桜清水地藏尊（天保四年・一八三三年）のお堂の脇から、今でも湧き出していますが、奥州街道を往来した当時の旅人の喉を潤したという大切な湧水です。

◎桜清水



末の松山の山下水

湧水（清水）探訪

◎明神様と清水

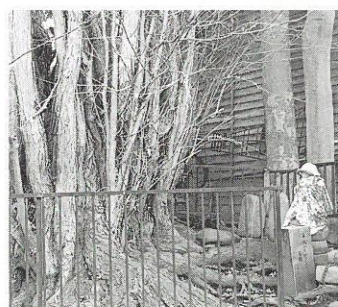
石切所穴牛に「あやかみ清水」があります。
幹周りが六・二七メートルもある巨木のカツラがあり、小さな祠の中に明神様が祀られています。
近所の主婦はこの清水を使って作る料理は最高であると、その恩恵に感謝しているそうです。



あやかみ清水

◎子授けの清水

石切所字台中平に大きなカツラの木の下に清水が流れています。カツラのそばに「子安産」が大切に祀られ、この水を飲むと子供が授かるといういい伝えから子供の授けを願う夫婦はこの水を飲んだといわれています。

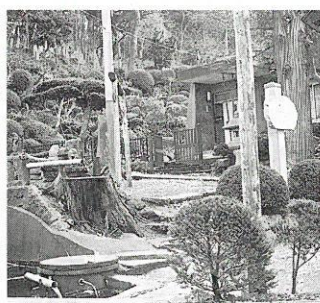


子授けの清水

現在は数戸の家に引かれています。

◎武内神社の神泉

武内神社は、仁徳天皇の時代の創建と伝えられ、蝦夷を鎮圧した武内宿弥を祀っています。
この神社にある御手洗池の清水は、冷たく、戦前には、市内の造り酒屋で原料水として使われたといわれています。



御手洗池の清水

◎市内で一番水量が多い清水

湧水の中で、水量が一番多いといわれている清水が、堀野児童公園の筋向かいにある、山から湧き出ている清水です。

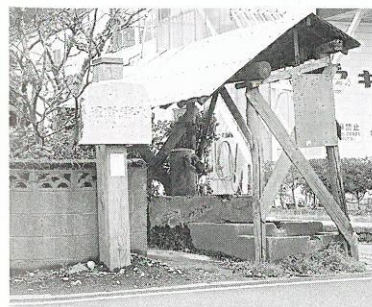
◎堀野の共同井戸

堀野字東側に、今も井戸組合で管理されている共同井戸があります。
この井戸は、明治初期の頃より地域の方々だけでなく、往來を行き来する人々にも親しまれ、今も二十戸余りの家で、大切に守り、利用されています。



堀野児童公園向いの清水

近くの人はもちろん、遠くからも車で水をくみに来ています。水量の多さが自慢のこの清水は、地域の宝として、利用されています。



堀野の共同井戸